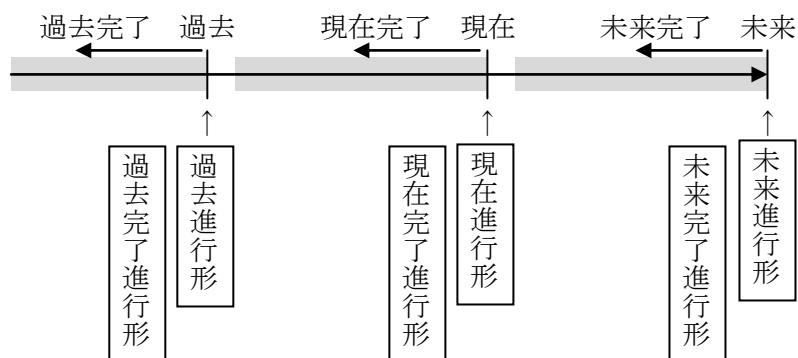


## ☆ 高校1年生英語「時制その1」

1. 本日のテーマその1(空欄は最後に埋めよう)

「**現在完了とは現在〇〇、過去完了とは過去〇〇、未来完了とは未来〇〇!**」「**進行形で近未来を、( ) ( ) で確実な未来を、be ( ) to で直後の行動を表現できる!**」

2. 時制図

→「**現在(過去・未来)完了とは、現在(過去・未来)を基準にしてそれ以前を表現するワザである!**」

3. 文末表現による時制の識別～「泳ぐ」を例にとって～

※「泳ぐ」はそれぞれの時制で、日本語ではどう表現するのか口で言えるか?

- (1)現在形 (2)過去形 (3)未来形 (4)現在進行形 (5)過去進行形 (6)現在完了(継続)  
 (7)現在完了(完了) (8)現在完了(経験)

4. 本日の目標問題その1(空欄に当てはまる語を入れなさい。1回目10秒、2回目10秒)

He will go abroad next month. = He ( ) ( ) go abroad next month.

5. 既習時制の特殊用法

- (1)「
- 進行形で未来も表せる?
- 」

例) He is leaving for America soon. → 極めて近い未来は現在進行形で表すことができる!

- (2)「
- 進行形や will 以外でも未来を表現できる?
- 」

① I will punish you. ⇔ I am going to punish you. ⇔ You shall be punished.(君は罰せられるだろう) 注) 主語が1人称以外で shall が使用されている時には話者の意志を表す。

② He is about to start eating lunch. 注) be about to ～で「まさに～しようとしている」③ We are to meet at six this evening.

※ be to の色々な意味(不定詞でも取り扱うが…)

be to の意味は「良い講義(予定/意図/可能/運命/義務)」

例文1: He is to study abroad next year. 彼は来年留学することになっている。

例文2: You are to stay here until six. 君は6時までここにいるべきだ。

→読み手にある程度、判断を委ねる表現方法と考えよう!

→ここで本日のテーマ及び目標問題に戻る!

6. 現在完了でのポイント(復習分野+α)

(1) This is my first visit to Kyoto. = I have ( ) ( ) Kyoto. = I have ( ) ( ) to Kyoto.

注) have been to(「～へ行ったことがある」「～へ行ってきたところだ」と have been in の意味を確認する。また、visit は動詞として使われる場合には直後に目的地が来る!)

(2) He has gone to Osaka. ≠ He has been to Osaka.

He went to Osaka yesterday, and he isn't here now. = He ( ) ( ) to Osaka.

注) have gone to の主語は必ず( )人称であるべきだ！

(3) He has already eaten lunch. →疑問文と否定文にせよ！

(4) ①I have seen an elephant three times. ②I have studied English for three years.

→下線部が答の中心となる疑問文を作れ！

(5) I haven't eaten between meals for more than six months. = More than six months ( ) ( ) since I stopped | eating between meals.

| decided not to eat between meals.

(6) 私は10歳のときに中国に行ったことがある。(下の英文の誤りを正せ！)

I have been to China | when I was ten years old.  
| at the age of ten.

注)日本語にごまかされるな！時制上ある一点の出来事では現在完了形は使えない！但し、過去完了形や未来完了形を用いることはあり得る(過去完了形のところで学習)！

(7) 東京に居た時に、私は3回その映画を見たことがある。

(8) 大阪行きの列車は経った今出発したところだ。(並び替えよ。但し不要な語句が一つ入っている)

The [ for, train, has started, Osaka, left] just now.

注)目的地の前の to, for 他の使い分けを完全にマスターしよう！目的地が東京であると想定して、当てはまる前置詞を書きなさい。

① go ( ) Tokyo ② come ( ) Tokyo ③ leave Yokohama ( ) Tokyo

④ start from Yokohama ( ) Tokyo ⑤ make one's way ( ) Tokyo

⑥ get ( ) Tokyo ⑦ arrive ( ) Tokyo ⑧ the bus ( ) Tokyo

## 7. 本日のテーマその2

「過去完了の形(had+過去分詞)は、過去の過去でも、時制の一致で現在完了の過去版としても表現が可能である！」

## 8. 本日の目標問題その2

(1) He said to me, "Were you sick yesterday?"

= He ( ) me ( ) ( ) ( ) sick the ( ) ( ).

(2) He said to me, "I have liked Ichiro for many years."

= He ( ) me that ( ) ( ) liked Ichiro for many years.

(3) 父がオーストラリアにやって来た時には、私は既に3年間そこで滞在していた。

## 9. 過去完了形

(1)定義 過去以前を表現する(過去の過去形であり、現在完了の過去形でもある)！

(2)形 had+過去分詞

(3)考え方(和訳の違いより)

I knew that she liked me. 私は彼女が自分を好きであるということを知っていた。

注)that 節の liked は時制の一致で過去形になっているだけで和訳を過去形にしてはならない！

I knew that she had liked me. 私は彼女が自分を好きだったということを知っていた。

He said to me, "I was busy this morning." = He told me that **he had been busy that morning**.

注) 話法転換時の副詞句

now→then・today→that day・tomorrow→the next day・ago→before・this morning→that morning・yesterday→the day before・last year→the year before

※時制の一致については後日改めて実施する！

(4) 過去完了練習問題

- ① He had been ill for a week when I called on him. (和訳)
- ② ①を否定文に(既習の知識を使ってチャレンジ！)
- ③ ①を疑問文に(既習の知識を使ってチャレンジ！)
- ④ 私の父は 40 歳以前には海外に出かけたことがなかった。(英作)
- ⑤ I found that I had lost my key. (和訳)
- ⑥ He said to me, "My father was sick yesterday."  
= He told me that ( ) father ( ) ( ) sick the day before.
- ⑦ He said to me, "I have lived in Yokohama for three years."  
= He told me that ( ) ( ) ( ) in Yokohama for three years.

注) 過去の過去も現在完了の過去も全て過去完了の形(had+過去分詞)で表現する！

(5) 話法の全て(直接話法と間接話法)

- ① He said to me, "I am an astronaut."  
= He ( ) me that ( ) ( ) an astronaut.

注) “ ”の中が肯定文・否定文であれば、主節の動詞は tell、接続詞は that を用いてその後ろは SV の形となる。主節が過去なら、従属節は過去か過去完了の形となる。例えば、He said to me, "I will go to China." = He told me (that) he would go to China. のように助動詞を過去の形にして表現することとなる。

- ② He said to me, "Study hard." = He ( ) me ( ) study hard.
- ③ He said to me, "Don't watch TV." = He ( ) me ( ) ( ) watch TV.
- ④ He said to me, "Please open the door." = He ( ) me ( ) open the door.
- ⑤ He said to me, "What do you have?" = He asked me ( ) ( ) ( ).

注) 中学で学習した tell 人 to, ask 人 to, 間接疑問文は間接話法の一つであったということ！また、ask には「～に頼む(求める)」の他に「～に尋ねる」という意味があり、後ろの形で判別する！

- ⑥ He said to me, "Are you busy?" = He ( ) me ( ) ( ) ( ) busy.

注) “ ”の中が普通の疑問文であれば、ask 人 if S + V で表現する。ここで新出事項！中学では、if = 「もし～ならば」と決まりきっていたが、もう一つ意味が存在するということが「～かどうか」という意味だ！この if は whether という単語でも置き換えることができる。学習した間接疑問文というワザを用いる！すなわち、間接疑問文とは間接話法の一つであったということ！また、この ask も「～に尋ねる」という意味となる！

- ⑦ He said to me, "How tall this boy is!" = He cried(exclaimed) to me how beautiful this boy was! = He cried(exclaimed) to me (that) this boy was very tall.

→目標問題その2に戻る！

☆ 高校1年生英語「時制その2」

1. 本日のテーマその1

「未来完了形(will have 過去分詞)は、未来を基準にしてそれ以前を表現するワザである！」

「現在完了形の継続用法と現在完了進行形の識別は時間的な長さで判断して良い！」

注)高校では「動作動詞の時には現在完了進行形を用いる」と教わるだろうが、その部分を尋ねる出題は見かけないので無視して良い！

2. 本日の目標問題その1

She ( ) for five years on June 10 this year.

ア will be marrying    イ will have been married    ウ will have married    エ is going to get married

3. 未来完了

(1) 形 will+have+過去分詞

注) will は世界で一番強い助動詞である！他の助動詞よりも優先される。証拠は will be able to, will have to. なぜ、そうなのか???

(2) 例文

① He will have climbed this mountain three times by next year. (和訳せよ)

② ①を否定文に

③ ①を疑問文に

④ 彼女は来年でここに5年間いることになる。(英作せよ)

⑤ 私がもし再び彼に手紙を書けば3回彼に手紙を書くことになる。(英作せよ)

(3) 目標問題を解く上での基礎知識

marry { ① ~と結婚する(他動詞) Will you marry me? - Of course!  
② AをBと結婚させる(他動詞) →分詞で活用する!  
③ 結婚する(自動詞) He married late in life. 彼は年をとってから結婚した。

注)②の分詞での表現方法

be		married (to ~) (～と)結婚している
get		(～と)結婚する

→目標問題に戻る！

4. 各種進行形

(1) 現在完了進行形 I have been listening to the radio for one hour.(和訳せよ)

注)敢えて現在完了の継続用法との違いを言うと期間の長さである！上記文末がfor a yearであれば I have listened to the radio for a year.となる。また、状態動詞の時には進行形は使えない！

(2) 過去完了進行形 The boys had been fighting for ten minutes when their teacher came into the room.(和訳せよ)

(3) 未来完了進行形 I will have been studying for two hours at ten.(和訳せよ)

(4) 未来進行形 I will be playing tennis tomorrow afternoon.(和訳せよ)

→下線部がそれぞれの進行形を表現する形である。今、例文ごと暗記せよ！

(5) 各種進行形練習問題

① John and Mary ( ) each other since 1977.

ア have been knowing イ have known ウ were known

② How long ( ) here by the end of the next year?

ア will you work イ are you working ウ will you have been working

5. 本日のテーマその2

「時制の一致とは、主節の動詞が過去の時に、従属節が過去か過去完了の形になることである！」

「時や条件を表す従属節、現在の習慣・不変の真理・歴史上の事実が従属節である時には、時制の一致は受けない！」

6. 本日の目標問題その2

I was taught that water ( ) at 100°C.

ア was boiling イ boiled ウ had boiled エ boils

7. 時制の一致の考え方

A. 和訳(違いが明確になるように和訳せよ)

(1) I knew that he had a dog.

(2) I knew that he had had a dog.

B. 英作

(1) 私は、彼が英語を勉強していると思っていた。

(2) 私は、彼が3年間ずっと英語を勉強していると思っていた。

(3) 私は、彼が以前、横浜に住んでいたと思っていた。

(ポイント)過去以前の内容を表現する形は過去完了しか存在しない。よって、現在完了の過去バージョンも、大過去も全て had+過去分詞で表現する。よって、中学時代には「主節が過去なら従属節も過去」と習ったはずだが、今後は「主節が過去なら、従属節は過去か過去完了!」と覚えておくこと。

C. 条件変更作文(「彼は私に～と言った」という文に)

(1) He tells me that he is busy.

(2) He tells me that he was busy.

(3) He tells me that he can swim well.

(ポイント)must 以外の助動詞には過去形が存在する。例えば can→could, may→might, shall→should, will→would となる。因みに must は had to で過去形を表現する。

8. 時制の一致の例外(パターン別詳細)

(1)時や条件を表す **接続詞** が支配する節中では未来の内容も現在で表現する!

→なぜ「接続詞」がやけに強調されているのだろうか? 答は、次の練習問題を最後までやると分かる!

例) Let's stay here [ till he comes back ]. 彼が戻ってくるまでここに居ましょう。

【練習問題】

A. 次の選択肢から選びなさい。

①Let's start the party when she ( ) here.

ア will arrive イ arrived ウ arrives エ have arrived

②Please close the door when you ( ).

ア leave イ will leave ウ have left エ left

③I don't know when he ( ) to America next year.

ア comes イ will come ウ has come エ came

(ポイント)③についてのみ、when は( )詞ではなく、( )詞である。よって、時制の一致の例外とはならない！

B. 英作せよ。

① 暗くなる前に帰っていらっしやい。

② 私は昨日、10年間ずっと会っていなかった友人に出会った。

(2)不変の真理や習慣はどんな時も現在形で表す！

例1) I was taught that the earth goes around the sun.

(ポイント)時制の一致の原則で言えば、主節が過去なので従属節の動詞は went であるべき。しかし、「地球が太陽の周囲を回っている」は不変の真理なので現在形のままで表現する。

例2) I knew that the train leaves the station at nine.

(ポイント)電車は原則として時刻表に則って毎日運行されているのが普通。よって、習慣と考え、時制の一致の原則を受けない！

(3)歴史上の事実は必ず過去で表す！

例) I learned that Oda Nobunaga was killed in 1582.

(ポイント)この場合も主節が過去であり、本来なら従属節は過去完了となるべき。「学習した」タイミングより、織田信長が暗殺されたタイミングのほうがもっと前であるから。しかし、織田信長が暗殺されたのは歴史上の事実である。よって、過去形で表現している。

→目標問題に戻る！